

10/24(土)14:00~17:00 緑台小学校 参加者 171名 発言者 19名
...ご質問、ご意見 ...川西市教育委員会の説明

<在籍 保護者>

説明会のスライドの字が見にくくて、資料にないスライドも多かったので分かりにくかったです。全てのスライドが載っている資料を改めて保護者に配っていただきたい。また、今日来られていない保護者もいるのでもう一度改めて説明会をしてほしいと思います。

説明会については、当該校と相談して、開催させていただきます。

<在籍 保護者>

学級数は12学級以上18学級以内が望ましい、とあったと思います。私の子どもは今緑台小学校1年生なのですが、統合予定の30年度には12学級ある予定です。統合すると19学級になって逆に標準から外れてしまう。標準から外れてデメリットをこうむる小学生がいますが、そういったところをどう考えますか。デメリットも含めて決定されているところが理解しがたいと思っています。

説明の中で、今年度の小学1年生は予想よりも人数が多かったと言っていました。今後の予想は、現在の住民票から推計を出しているとおっしゃっていましたが、児童数が増えたという変化があるにも関わらず、現時点の統計だけで予想しているのではないですか。今後の展望をどう考えますか。

新名神もでき、すごく近辺ではないものの、この地域としては少し活性化すると予想できるとしています。今後の人口の推移で、川西北小学校などは32年度に増加の傾向がみられていますが、それはキセラ川西が出来るから学生が増えるだろうという、目に見えている変化から考えているだけではないのですか。まちづくりとして、市長部局と協力して緑台地区の生徒数を確保する、他の学校区から緑台小に持ってくるなど、まちづくりの施策として教育委員会は何か踏み込んでやってきたのですか。今までにもっと考えられていたことはあるのか、やっていたならそれを教えていただきたいです。また、小中連携教育をメリットとして挙げていると思いますが、教員は小学校の教員免許・中学校の教員免許どちらかのみの人もいると思います。小学生に対して、中学の教員が小学生の目線で教育してもらえるのか。統合というデメリットに対して、少なからず教育の面で良いことがあると分かっていないと納得できないと思っています。

まず推計と街づくりの質問についてお答えします。住民基本台帳の流れは毎年集計しており、だいたい6年分予想しております。その誤差は今のところ±2%です。キセラという具体的事例も挙げておられましたけれども、それも加味した推計値でないかと思っております。

あわせて、都市計画の図面なのですが、会場に貼りだしております。

また、都市計画の部門に行き、このあたりで新規住宅需要があるか必ず確認しております。推計値を出すときには、住宅開発が行われるか、中古住宅の販売はあるか、どのくらい流入があるのか、予想数値の中に入れますが、今のところ、それほど動きはございません。

確かに、活性化の要素はあります。ところが、6年後の推計値にあまり動きは出ていません。

すでに都市計画の部門で少子化のことなどを考えていると聞いております。教育委員会として直接そこに加わることはありませんが、そういう部門の情報は聞いております。

また、教員免許についてですが、例えば小学校の教員で中学校の免許を持っている者、中学校の教員で小学校の免許を持っている者もおります。その辺はきちっと免許の所持を確認した上で、適切に人事配置を含めて検討していきたいと思っております。

次に、学級数の適正規模についてですが、市内全部が適正規模範囲内というわけではありません。前々からこの地区は少子化が見込まれると言われていましたが、今回この決断をさせていただいた一番大きい要因は、1学年単学級という状況は非常にリスクの高い教育をせざるを得ないということです。単学級がすぐにダメというわけではないですが、小学校6年間を単学級で過ごすというのは、難しい状況が生まれやすいだろうという事と、教員の数が減るということは、チームとして相談したり共に上がっていくという集団になりにくいことが判断に入っております。

<在籍・未就学 保護者>

小中一貫・小中連携の話が挙がっていましたが、清和台地区について、清和台小・清和台南小・けやき坂小が1つの中学校に入ると思いますが、その地区は小中連携なのか小中一貫なのかどちらですか？

小中連携教育については今、市内どこの中学校区でも進めております。ただ、こちらの地区については、小学校と中学校の距離が近いということで、日常的に教員が移動しやすいため、小中一貫教育を目指しています。ご指摘の清和台地区は、小学校と中学校に若干距離がありますので、基本的には小中連携教育を充実していくことを考えています。

清和台中学校区は1小学校1中学校ではないんですが、清和台小と清和台南小を統合する話も進めておりますが、けやき坂小学校もあるので、一気に小中一貫というのは難しいと思っております。

陽明小と緑台中は確かに近いですが、緑台小もそんなに遠いわけではない。緑台小から緑台中の距離は、清和台小もしくは清和台南小から清和台中の距離ほどないと思うんです。それなのになぜ陽明小学校に統合するのですか。人数のことは住民票からしか分からないと思うんですが、予想推計よりも増えた場合、陽明小で規模が足りなくなる事は十分考えられると思うんです。緑台小ならすぐそこに体育館や市民グラウンドもあるし、対応できると思います。陽明小学校に統合する理由が、中学校に近いということだけしかない。緑台小に統合しても、どっちにしろ陽明小から文句が出ると思うのですが、なぜ向こうなのかが引っかかっているんです。小中の合同の授業は年に何回あるのですか。教職員なら車で移動するのではないですか。子どもが移動するのであれば少し距離があるのは分かりますが、低学年が移動することはないと思うんです。他の学校で2キロ3キ

口の距離を通学している小学生がいることは分かりますが、こちらとしてはあるものが無くなるのだから、小学校に近いという理由で家を買った人もいるのだから、なぜ陽明小学校なのかははっきり聞きたいと思います。

小中一貫教育は、今やっている出前授業のようではなくて、日常的に時間割の中に組み込んで行っていくイメージをしていただきたいのです。例えば、中学校の教員が、2時間目中学校で教えた後、3時間目は小学校に行くなど、日常的に行き来するというのがあります。

それと、高学年に限り中学校の施設などで授業を受けることを考えた場合に、移動距離・移動時間、車という話もありましたが、2・3時間目の間の移動を考えると、出来るだけ円滑なほうが良いと考えています。

また、中学校についても少子化は避けられない問題だと考えています。今は小学校の教育について意見をいただいておりますが、中学校をどうしていくかということも踏まえたくて、陽明小学校を選択しております。

短い休み時間の中に移動ではなく、昼休みの間にするとか…。陽明小なら2クラスの児童が歩いて移動できると思いますが、2・3時間目の間に40～50人の児童の移動が完了するのは難しいのではないですか。小中高一貫の私立学校なら分かりますけど、日常的に移動するにしても中途半端な時間に移動するとは思えない。なのに、緑台小学校では出来ないというのがどうなんだろうと思います。規模が小さくなるのが前提ですが、小中一貫教育とはすごくいいことであるし、これをグリーンハイツの売りにすれば、グリーンハイツに引越したい人が増えてくると思うんです。ただ児童数は住民票からしか拾えないとは思いますが。

例えば、サマーカーニバルをするときはバスが走りますが、その時のようにスクールバスを走らせてもらうことはできないですか。教育委員会では難しいのかもしれませんが、親の立場からは通学距離が延びることに対して不安があります。何か事件が起きてからでは遅いです。緑台小校区の人はまず緑台小まで登校し、そこからバス通学にしてもらえれば少しは心配が減ります。平野駅の近くから陽明小学校まで歩くのは高低差もあるし、雨が降った時のことを考えると簡単ではないです。教職員の方も駅から歩くとなれば、陽明小より緑台小がいいと言うのではないですか。教職員の数も少なくなるということであれば、子ども達を守ってもらえんと思えないです。それで地域の方に負担をかけるということもできません。2校が1校になり校長が一人減るのだから、その予算をスクールバスに回してほしいと思います。小中一貫教育やスクールバスが通り、教育熱心だということをアピールできればこの地区に子どもが増えると思います。その対応も考えていただきたい。

ご意見としてお伺いします。

<在籍 保護者>

話を聞いていると、どうも教育委員会が小中一貫教育をやりたいがために統合するように思えます。そもそもなぜ小中一貫にする必要があるのか。私は、少ない人数で9年間過ごして、高校に入ってカルチャーショックを受けるのは怖いです。狭い中で9年間いることを良いとは思っていません。数字を見ても、陽明小の方が単学級が出現する年は早いのに、なぜ人数が少ない方が移動せず、人数が多い方が移動することになるのか。人数多い方が移動する方が事故のリスクも多いですよ。そこがわかりません。そこで話を聞いていたら、教育委員会が小中一貫のモデル校の実験をしたいという風に捉えられました。説明の中に教育の平等性の話が出ていましたが、なぜ小中一貫校の実験的なことをするのか分からない。なぜそういうことを進めようとしているのか教えてください。平等性ということに矛盾しているように感じます。

小中一貫校のモデルとするために統合するというのは、順番が違います。先ほどもご説明させていただいたように、単学級というものが教育上のリスクを背負うだろうとの判断です。

小中一貫というのは、統合での利点と言いますか、せっかく1小1中になるので、それを最大限活かした1つの方策として挙げています。小中一貫教育については、全国的にいろいろ考え方が違う所もありますが、我々が考えているものは、教育課程については他の市内地域と同じです。ただ、統合した場合の小学校・中学校を考えると、どちらも小規模校になって、教員数が厳しい状態になるだろうと。その時に、お互いで教科を取るということで、かなり柔軟な使い方ができるので、そういう精神的な面も見させていただいております。例えば、小中で家庭科の教員が1人、ということで教員配置の柔軟性が描けるのではないかとということが1点です。

それと、先ほども話にありましたが、かつての中学生の難しさが、小学生高学年に出てきています。そのため中学校のノウハウなどを、小学校と連携して取り組んでいく必要があるのではないかとということです。それと最近、中1ギャップが言われているので、お互いの小学校のルール・中学校のルールをある程度そろえて考えていく必要があるのではないかと。一貫に限らず連携を進めていく一つの考え方だと思っており、具体的にどういう一貫教育を進めていくのかということは、来年度以降、保護者・実務する教職員・教育委員会等で検討していきたいと思います。ただ、小中一貫教育を進めていくことで、小規模校のリスク軽減や統合のプラス面が出るのではないかと考えております。

<在籍 保護者>

統合の根拠として学級数と教員の配置を挙げておられますが、例えば1クラス20人定員にしたら、33年度でも2クラスになるわけですよ。そうすれば子どもも親も安心かと思うのですが、市独自に、1クラスの定員を減らして教育を確保すると考えられたことはあるか、と気になりました。

クラスの定数というのは、国の方の基準があり、それをもとに県で差配されており、教職員は県費で配属されています。国では1年生35人学級、2～6年生40人学級ですが、兵

庫県では、2～4年生まで35人学級とされています。この動きは注視していかなければなりませんし、国・県へ中学3年生まで35人学級にしてほしいと要望は出しております。現時点で、クラス定員を減らして市費で、ということは難しいと思います。

国とか県の方針というのは分かったのですが、それでしたら川西市教育委員会として定員を減らす要望や決定をする権限は全くないのでしょうか。

国や県に対して要望はさせていただけるのですが、現状、国の法律や県の方針あつての教育の適正配置というものがあるので、なかなかそこに一步踏み込んでいくことは難しいことがございます。しかし少しでも改善するように、国や県への要望は今後もしていきたいと思っています。

<在籍 保護者>

川西市教育委員会のしようとしていることは、ただの実験にしか思えません。小中連携を行って、本当に効果があったという客観的証拠、データを出してもらうことはできますか。

文科省が、取り組んだ内容についてまとめたものがあり、その中で小中一貫のメリットとして、先ほどお話ししたことや、小中9年間柔軟に取り組むことが出来たなどという成果は出されていまして、もちろん課題も出されていまして、例えば、小中の教員が非常に忙しくなるというようなことがありました。小中一貫については、特にうちの市が、ということではなく、近隣市でも行っているところはありますし、見学に行かせていただいたりしています。

結局、今提示できるデータはないということですか。

文科省のホームページを見ていただければ、そこに詳しく報告されております。

重要なデータなので、このような説明会の場で提示してほしいと思います。

<在籍 保護者>

統廃合しないと小中連携教育を出来ないような言い方でしたが、現時点でもすることは可能だと思います。現時点で中学校から緑台小に先生が来たり、小学生が中学校に行ったりする試みはできると思うんです。それをやった上で、やっぱり連携した方が良いということになれば分かるのですが、現時点で、それを試験的に離れた状態でやってみるのは難しいのですか。

また、先ほど誰かおっしゃっていましたが、クラス定員を小さくするというのも1つの方法で、県費で教職員は決まるということでしたが、たぶん市でお金を出せば教職員は増やせるんですよね。

教師でなくとも学校に人数がいれば、安全面は確保されると思います。少なくなると、教師の数が少ないので合併します、ではなくて、今お金をかけて、市の方で県費以外の方を雇うというのも1つの方法だと思います。

現在、小中連携を緑台小学校と緑台中学校ではやっていますが、現時点のやり方では、今後出来ないのかと申しますと、出来るのかもしれませんが、しかし、今やっているやり方は、非常に単発的なので、「日常的に」というところが今後の小中連携とは違うところです。

今、緑台中の先生を半年間小学校に配置するとか、中学校の先生が本当に小学校に入れるのか分からない中で、日常的にやるのであれば日常的にやれる方法を考えればいい話なので、近くにないとできないわけではないと思うんです。公立なので、私立のような一貫教育をする必要もないような気がします。

いきなり児童数が増えると先生も困ると思うのですが、前もって合同運動会をするとか、そういう話はなかったですが、合併した後、円滑に連携教育ができるのか。この3年間で、合併に向けて何か取り組みはするのですか。

小中連携の前に小中連携について、統合までの時間に十分に詰めていきたいと考えています。例えば、合同の運動会も一つの方法ですし、その他についても今後、緑台小・陽明小の先生方と相談しながら、子どもたちが今後登校する時に、緑台・陽明とトラブルが起これないように、十分になじめるようにさせていただきます。

また、市費の教職員をというお話ですが、現在、市費では、生活指導相談員を各校に配置しております。それと特別支援に対する介助員です。市費での教職員となりますと、非常に困難だと考えています。非常に膨大な人数を雇用する形になるので、現時点では難しいと考えております。

< 地域の方 >

小中連携教育をして、川西市の教育委員会としては、どういう子を育てたいのでしょうか。緑台小学校なら「よく考える子ども、助け合う子ども」、緑台中なら「切磋琢磨」とか、学校によって目標があり、それに沿って教育してくださっています。教育課程は他の学校と変わりません。交流の授業がある、となると、どこかで何かの授業が減るのかなと。

中1ギャップがなくなるよという話もありましたが、例えば明峰小なら小中高が1校かなと思うのですが、小学校の子がそのままずっと中高と上がっていくので、別の面で見じめから逃れられないのではないかと。今だったら中学で緑台小・陽明小が混ざるので、新しい友だちを見つけられるけれど、小学校1校・中学校1校となると中学もそのまま上がることになり、そこで生まれる心の問題もあるのではないかと。思います。

この地域では松風幼稚園が廃園になると思いますが、心の教育を大事にされていたので、残ってほしいと思っていました。心の教育は小・中学校でも大事だと思います。小中連携教育でどうい

子を育成していきたいのかをもう少しはっきりおっしゃらないと、教育委員会が実験的に小中連携教育をやりたいと思っていると保護者の方に言われても仕方ないと思います。インターネットで文科省のホームページ開いてくださいということでは、どうかと。また、スライドの資料について、大事だと思うものが、手元資料にはありません。やはりその資料は、ここに来ている皆さんに配られて良かったものじゃないかと思います。学校・自治会・コミュニティにも、その資料は何部か届けていただければと思います。

子ども像については、小中連携を進めていくときに、学校規模としては小さくなるんですけども、縦の関係が出来ますので、お互い自尊感情、下のお子さんを見ることによって自分の有用性を感じたり、身近に上の学年を目標にして考えたり、ということが極めて直接的にされるということもあると思います。学習内容についても、教員同士の研修、お互いの交流も非常に大事であり、算数から数学にどうやって変わっていくのかとか、実際の授業の中で力量が高まると思います。

< 地域の方 >

緑台小と陽明小を比べた時に、今後人数が増える可能性が高いのは緑台小であろう、距離もざっと見た感じでは緑台小校区の端っこの方が陽明小に通う方が遠いのではないかと。それに加えて「緑台小学校は人気があるんです。」と説明されていましたが、それを考えて、どうして陽明小なのかと。と言いますのは、緑台小は最初人数があふれて、陽明小に分校しました。次に多田東小に行くときに、某マンションの人をどちらの校区にするかもめて、結局多田東小校区になりました。その時に、緑台地域は高層マンションが建たないと分かっているのですから、教育委員会・市議会議員の方が将来のことを見極めてマンションの校区を緑台にしておけばこういうことにはならなかった。その時に失敗したツケを今の子たちに回すのはおかしいのではないですか。将来のことをきちっと考えて決断してほしいです。また今回の件が失敗して将来緑台小の人数が増えたら、ここにいる保護者は納得できません。

先ほどいじめが起こった時に単学級では困ると言っていましたが、それならどうして中学校と一緒にするんですか。言っていることが矛盾していると思います。1クラスならいじめが起こった時逃げられないからクラス替えは必要ですと言いながら、なぜ中学と一貫にするのですか。

人数が少なくなって、いずれ緑台中もなくなるとうわさで聞きました。そうすると多田中校区になるので陽明小との連携は全然関係なくなりますよね。要するに計画性がないのではないですか。

小学生に歩かせるのなら、先生も車をやめて平野駅から学校まで歩いたら良いのではないですか、今からでも。歩くことは体にいいのかもしれませんが、幼稚園から上がった小学1年生が歩くのは大変だと思います。学校につくまでに疲れると思います。小学生は6年間歩くのですから、3か月毎日歩いてみてください。実際歩いてみて、少し体調が悪くても足が痛くても問題ないと思ってから、話を進めてください。机上で数字だけ見ているからややこしいことになるんです。実際歩くのは子ども達です。保護者が安全面を心配するのは当然です。

緑台小が良いから引越してくる人もいると思います。その人たちのおかげで少しずつ地域が活性

化していけばと思っているのに、なぜ小学校を減らすのか納得できないし、それがどうして緑台小学校に、とならないのか。おもとは緑台小学校から分校したのにどうして元の学校を廃校にするんですか。理由が小中一貫というのは、言い訳に聞こえて仕方がないです。先生方の都合でなく、まず子どもの都合、お母さん方の都合を考えてください。小さい下の子を持つお母さんもいるかもしれない。そういう方はどうやって参観日に行くのですか。

「子育て支援」と口で言いますが、本当の子育て支援というのは、皆さんに意見を聞いてみんなの希望通りにするのが一番ではないですか。約10人の議員さんにも聞きましたけれども、それだけ聞いて結論待ちというのは非常におかしいのではないですか。お子さんがおられる方がどうか知りませんが、やっぱり実際小学校に通っている児童の保護者の方の意見を聞いて、いろんなこと運んでいただきたい。

皆さんの意見を聞いて、持ち帰って相談しますという言葉が一切出ませんが、また練り直すという態度がほしいです。説明会は、決まったことを一方的に話すのではなく、双方の意見を出し合う場です。

子育て支援を謳うのであれば、この街を活性化させるのにどうすればいいか。小学校が二つあっていいじゃないですか。お金がないのであれば他のところで儉約してください。小中一貫が良い方は最初から私学に入れると思います。皆さんからいろいろ案が出ているのですから、今までの案を廃案にして、もう一度検討し直してください。よろしくお願いします。

決して説明会で一方的にということではありません。本日いただいた意見は当然持ち帰ります。

<在籍 保護者>

親の代になってグリーンハイツに戻ってきた同級生も多いです。グリーンハイツは防災の面でも住みやすいし、住みやすい街で育った子どもは、親の代になった時に戻ってくるものだと思います。うちの子も大きくなったら近くに住むと言ってくれているのですが、このまま廃れていったら戻ってきてくれないのではないかと思います。

引越する時は、小学校や公園に近いとかの立地条件をいろいろ考えて来られます。前の方も言うていましたが、1クラス35人、40人というのはマックスだったと記憶しています。40人が理想ではなく、できれば少人数が望ましくて、最大40名ということだったと思うのですが。小中一貫をやることで、かえってデメリットの方が多いように思えて仕方ないです。教員が小・中学校を行き来すると、今まで面倒を見てもらっていたのが薄くなる。音楽や家庭科など専任の教師が、兼任になってくると、教員数減らして人件費を浮かそうと、楽な方に流れているように見えて、教育の質としては低下するように思います。

すこし話はそれですが、先日、公園をつぶして民間委託のこども園をつくる、一方で松風幼稚園は廃園という説明会に参加しました。その説明会では、持ち帰って検討しますと言ったきりで、改めて説明会などは開かれていない。どうなっているのでしょうか。それも教育委員会の管轄だと思うんですが、なぜこども園を松風でやらないのか、市立でやるべきじゃないかという意見がある中、

説明会の時点で同時進行で民間業者の募集をしてしまっていて、業者が決まっていた。凍結したらどうですかという意見も出ましたが、そのまま進行中ということで。今回の説明会もそうですが、すべて決まってから、一応反対意見も聞いたよ、でもその意見に対する回答はなしで、責任を持って説明をするべきである市長さんとかがないので、市の職員の方だと持ち帰って検討するとしか言えないとは思いますが、もう一度説明会も開かれなまま計画だけ先へ進んでしまっている。これは、どこに持っていけば良いんだろうという思いがあります。

教育委員会だけでなく、市の行政全体の話だと思うのですが、例えば公園のブランコがさび付いて、同時にほとんど建てているので、公園の老朽化が同時期に起こっていて、知り合いの方が頼んだら、予算がないから出来ないと言われたそうですが、予算がないのは必要でないと思われるだけで、必要だったら予算はつくものだと思います。

グリーンハイツについては「後追い後追い」の行政で、泥縄式という感じがします。土砂崩れや浸水の心配もないし、いい条件がたくさんある街なのに、それもアピールできないような、人を呼び込もう、グリーンハイツを活性化させよう、少子化対策をとろうということが感じられない。公園にしても教育委員会にしてもそれぞれバラバラで、グリーンハイツを大事にしてもらえていないという感じがしてしまいます。市民グラウンドの整備も、そちらはそちらでという感じですし。本当に住民の声を聞いたのかと。審議会に地域の代表の方は出られていたみたいですが、代表の方の意見と言っても、それは個人の意見でしかありません。地域で討論会をして、その意見吸い上げ代表していただいているなら別ですけど。少子化で、老人に手厚い街を作ろうとしているのかもしれないけれど、お年寄りの方が、老人ばかりの街に住みたいかということ、そうではないと思います。子どもがいる街というのが、お年寄りも安心して住める街だと思うんです。

小学校は6年間あるのだし、せめて統合は6・7年後、ということならまだ分かるのですが、3年後で、在校生にしわ寄せを我慢してもらおうというのはおかしいと思います。あとは公園や幼稚園のことで横のつながりをとっていただいて、グリーンハイツ全体を見てほしいと思います。

説明会も、今回出た疑問・要望に対して具体的に答えられるよう、これからまた話し合いを第2回3回と開いていただきたいと思います。

小学校の統合は大きな問題だと認識しております。今日こちらで説明会をすることについて、市長に伝えておりますし、今日いただいた意見に関しても報告させていただきます。

あと、教職員の人件費は県負担なので、学校の先生が減ったから市が儲かるということはないです。そういうことではなく、より良い環境をとということです。

<在籍 保護者>

今小学2年生の子がいる父です。ちょうど小学5年の思春期の時期に統合になりますが、向こうの小学生とぶつかり合いが生じないか。そのケアもするということですが、テレビのニュースを見ても教育委員会は「後追い後追い」ですよ。

また、統合の話は何年も前から出ていたはずなので、在籍の保護者にだけでも先にアンケートを

取るべきだったのではないですか。決まったことを説明会で言うのはおかしいでしょうし、子どものことを研究材料にされたくないんです。まず子どものことを考えるのが学校の責任だと思います。通学距離のことも平気で言われていましたけど、小学1年生の女の子が端から端まで歩けるのか、晴れの日だけじゃないんです。

また、小学5年生で統合になる子は、卒業の時どちらが母校になるんですか。子どもの気持ちを考えているんですか。

知り合いのお母さんたちも、PTAの仕事として朝の立ち番などしてくれていますが、PTAも任意なのだから結局は押しつけでしょ。今後働きに出る母親も増えると思いますが、そうすると誰が子どものケアをするんですか。少し距離が遠くなるだけかもしれませんが、親はその少しの時間も走り回っているんです。そういうことも考えてください。

それと、説明会は決まる前に行ってください。決まったことなら偉いさんが説明するべきだと思います。

スクールバスを走らせるなりなんなり、配慮してください。子どもに何かあった場合の嘆願書を出しますから。きちっとケアしてください。保証してください。警備員も立たせてください。その辺しっかりお願いします。

<在籍 保護者>

陽明小の方が先に児童数が少なくなるのに、なぜ陽明小に統合するのか疑問です。私たちは子どもが卒業してもグリーンハイツに住んでいくので、もっと長い目で見て、どうすれば子どものいる家庭に来てもらえるのかを考えていると思います。緑台小は人気校で、校区外で来ている人もいらっしゃって、現状では人の出入りが期待できますよね。なぜ緑台小でなく陽明小に統合するのか、明確なことが聞きたいのに、小中一貫教育という理由のみでさらっと流してしまうから、小中一貫教育がそんなに大事なのかとなってしまいます。

2年ほど前に、緑台中の人数が少ないという事で、緑台小の子は全員緑台中に校区変更があったばかりですよね。今後、緑台1,2,3丁目の方はあの坂を上って緑台小に行くより、校区外で多田小に行く方が増えてくるのかなと思っていました。

33年度、1年生、2年生は緑台小・陽明小を足しても54人、52人となるのに小中一貫教育は確保されるのか心配です。だったら少しでも期待できる方をうまく活かさないか注力するほうが良いのではないかと、普通に考えて思ってしまう。

<陽明在籍・未就学 保護者>

「ミマモルメ」というシステムはご存知でしょうか。登校時と下校時に親にメールが来るシステムです。登校は集団登校で心配はないですが、下校はバラバラなので、校門を通った時にメールが来ると安心です。宝塚から引っ越してきましたが、川西ではやっていなくて驚きました。近隣の市はこのシステムを取り入れているようですが、川西はなぜやっていないのか、何か意味があったのかお伺いしたいということと、親は登下校時が一番心配なので、川西市でも取り入れていただきた

いです。

親だけが安心なのではなく、子どもも下校時に親にメールがいけば安心感があると思うので、是非取り入れていただきたいと思います。お願いします。

「ミマモルメ」について、今、調査・研究を進めております。登下校の心配に対して何らかの方法を、ということで、調べているところですので、市教委が取れる方法にどのようなものがあるのか、少しお時間をいただいて、調べていきたいと思います。

<在籍 保護者>

統合に関してはうわさでは聞いていたんですが、公的な説明会は今回が初めてで、説明会の日時は決まっていたのに、事前に保護者や地域の方に資料を配っていることもなくて、今日初めて資料を見ましたが、短時間で納得はできません。資料を見ていても、何が決定事項で、何が単なる案なのか、分からないのではっきりと今日この場で言っていただきたい。

説明会も何度かないと納得できない。子どもは学校が変わることについて、案外すんなりいくかもしれませんが、親の方に不満が残っていると、折り合いが悪くなっていくことも十分考えられると思います。

<在籍 保護者>

統合というのがとても前面に出ていて、具体的に分からなかったというのが正直な感想です。緑台小の保護者としては、児童数が多いのも、敷地面積・校舎の広さも緑台小の方が大きいのに陽明小に統合することに対し、何か具体的な統計を取って、その結果決めたのならわかりますが、とてもあいまいな、身近じゃないデータが多かったので不安を覚えました。人数が減ってきて、統合の話が出てくるのはわかるのですが、統合年度をもう少し延期はできないのでしょうか。

大人の都合で30年度にしているように思います。今すぐに1クラスになるわけではないので、何度かいろんな方法を試して、努力してみる期間があれば安心できると思いました。一度考えていただきたいです。

<在籍 保護者>

生活の場なので、街づくりとも関わった話だと思うのに、資料を配るのはここに来た方だけというのは、おかしいと思います。事前に小学校に通う子どもたちに資料を配っておけばよかったですのではないかと思います。また、生活の場の話であるのに、市の街づくりに関わる部署の方が来ていないのに納得がいかなくて、跡地の利用に関しても、教育委員会の管轄でなくなったらどうなるかわからないと言われると、物足りなさ・不信感を感じます。

児童数が先に少なくなる陽明小に統合する理由が、中学と近いから小中一貫教育を進めやすいということですが、小学校と中学校が真隣にあるなんて珍しいことだと思うし、立地に合わせてやり

ようを考えていくことだと思います。

「子どもが減るから…」ということですが、子育て世代を増やして市の若返りをはかりたいという施策に逆行していると感じます。であれば、緑台小は人気で、他の地域からも通っている方もいて、良いコミュニティも作れているのだから、それをより活かすような形で進めていくのが良いと思うのに、小中一貫がやりやすいというだけでは納得がいきません。

スペースの問題は、育ちざかりの子どもにとって精神面でも健康面でも大きなことです。私は東京から引越してきましたが、向こうでは学年を二つに分けて、一方しかグラウンドで遊べないという所もあります。そうするとエネルギーが発散できず、いじめが起きやすくなります。それを考えると、広いゆとりのある空間というのは大事だと思うので、統合先が陽明小なのが納得いかないというのがあります。

また、跡地について、どちらかに統合するというのなら、インターナショナルスクールやフリースクールなど、市内の教育の選択肢を増やして、教育環境が豊かになる方向で考えていただけたらいいなと思います。

<在籍・未就学 保護者>

昨年12月に、松風幼稚園廃園の説明会の時に、この周辺で公立幼稚園が無くなるが、それでも公立に通いたい場合はどうしたらいいかとお話をしたら、多田幼稚園に通ってくださいというお話をいただきました。その時に、「小さい子を連れて多田幼稚園まで歩けますか」「バスを出すなどの対策を講じていただきたい」とお願いしました。「持ち帰って検討します」とのことでしたが、その返事もらったのが半年後で、検討した結果、特に変わりはなく「徒歩で通ってください」との返事でした。

「それでは松風幼稚園の廃園について納得できない」と伝えると、「持ち帰って話し合います」と答えてもらったが、そのまま返事は貰えていません。

今回の説明会でもいろんな意見がある中で、持ち帰って検討しても、その答えをいただく機会が本当に少なく感じるんですけれども、もっと短い間隔で地域の方や保護者に検討結果をお知らせいただく機会はないのでしょうか。

できれば短い間隔でおこなっていただきたいと思っておりますのでお願いします。

それともう一つ、統合ありきの話にはなってしまいますが、多感な時期ですし、そういう子どもたちを見守るには、先生たちはどうしても忙しそうに思ってしまうですし、スクールカウンセラーを置いて、統合前から子どもの様子を見ていただくという計画はないのでしょうか。

持ち帰って検討し、もう一度、説明会を開催させていただきたいと思っております。時期は、今年度中にはもう一回というふうに考えております。

また、スクールカウンセラーについて、現状を申し上げますと、7中学校に1人ずつ、16小学校のうち4校に配置しており、全部の小学校に配置してはいません。小学校で必要な場合については、中学校のスクールカウンセラーを利用するという事になっています。

今回の統合に関して、何らかの人的な支援を検討しているところでございます。それがス

クールカウンセラーになるのか、加配という形になるのかは、現在は未定です。

<未就学 保護者>

うちはまだ小学校に行っていないので、資料が届いていないのかと思ったのですが、皆さんに情報の開示ができていないですね。きちんとしてください。最低限、川西市のホームページに載せるなど、よろしく願いいたします。

小中一貫があるから陽明小を選んだようだったが、回答を聞いているとまだ検討の途中のように聞こえました。ちゃんと検討している内容を教えてください。

小中一貫が嫌な場合、多田中に行く選択肢も選べるようにしてください。

<在籍 保護者>

文科省のホームページの、統合の手引きという項目の中に、「保護者・地域の同意が得られない場合強引に進めてはならない」と書かれていたので、おとなの事情でなく子どもの目線で、これからも検討を進めていってください。

まず、本日の説明会の位置づけとして、今日ご説明させていただいたのは、教育委員会としての方針といたしますが、計画をお示しさせていただいております。したがって、いただいたご意見を再度検討していきたいと考えております。教育委員会の方針・計画を初めてお示しさせていただいた会だと認識していただければと思います。次回以降の説明会については、日程調整し、きちっと回答が出来るような形で開きたいと考えています。

それから、陽明小学校と緑台小学校の敷地面積・運動場ですが、運動場はご指摘の通り緑台小学校の方が広いですが、敷地面積は陽明小学校の方が大きいです。

跡地利用の考え方ですが、街づくりの観点から跡地をどう活用するかについては、教育も案は持っています。ただ、地域の方も教育に限らず、こういう風に活用したい思いがあるだろうと、そうなった場合は教育的な視点だけでなく、街づくりの視点からも考えていかなければならないということで、一応スケジュールは示させていただいておりますが、決してこの通りというわけではありません。私どもとしては、まず統合についてきちんと整理したうえで進めていくべきだと思っております。

また、資料については、ご指摘の部分もありましたので、配布できるような形で運用させていただきたいと思っております。

教育委員会内の横のつながりということで、一つはこども未来部のことかと思っておりますが、これについても、それぞれに部署はあるものの、多田グリーンハイツとして考えていかなければならないと考え、そういう会議はしておりますし、考え方をすり合わせて、より良いものと思っています。

他部署については、特に街づくりということもありますので、市の総合政策なり、そういうところと連携して進めていくということで、協議も進めております。

まだ不十分なところはあると思っておりますので、今いただいた意見は庁内に持って帰りたく

考えております。

今の説明ですと、現時点では決定していることは何一つないと、そういう理解でよろしいですね。

計画としてお示しさせていただいているということです。

あくまで計画案で、廃案もありうるという理解でよろしいですか。

意見をいただいて、また説明会をさせていただいたときには、そこも明らかにしたいと考えています。教育委員会としての案は、決定しております。

市として決定しているのか、ということをおっしゃってください。陽明小に決定しているわけではないのですね。まだ計画であると。立場もあると思うので、決定なら決定とおっしゃってください。ここで中途半端なことを言うと皆さん困ります。

「陽明小にしようか緑台小にしようか考えています、ただ私たちは陽明小に決定したいと思っています。」と持ってきているのか、それとも「もう陽明小に決定しているのです、皆さん理解してください。」と。どっちなのですか。

前者の方と理解しています。次回の説明会の時には、きちっと方向性をお示ししたいと思います。

たくさん意見が出たと思いますので、回答できたものから順次、ホームページなりで公開していただきます。書面でも学校に渡してください。お願いします。

終了